

# 天理大学百年史コラム(12)天理外語航空部

令和3年(2021)8月4日

令和7年(2025)、天理大学は創立100周年を迎えます。この一世紀にわたる時代のなかで、わたしたちは大きく変化する社会とつながりを持ちながら、教育を通じて多くの人々を育て、同時に多くの人々とともに成長してきました。百年史コラムでは、今の天理大学へと至るプロセスがどのようなものであり、どのようなことが行われてきたのかについて発信していきます。

航空部といっても、現在は本学のクラブとして馴染みがありませんが、本学の前身である天理外国語学校には航空部がありました。(約5年の短い活動期間)

## 天理外語航空部創設

昭和14年(1939)天理外国語学校の校長から「航空部といふ程のものではなく、その前奏としてグライダー部を設けたい」という希望があり、東京朝日新聞社のグライダー部、関西各グライダー製作所に問い合わせ、または近郊の学校で既にグライダー部を設立していた畝傍中学校、郡山中学校を訪問するなどして、グライダー部設立の調査をしました。

昭和15年(1940)航空部創設と日本学生航空連盟への加盟を言明し、航空部の誕生を発表しました

同年、全日本学生航空大会 制限地着陸種目で優勝滑空班の創設

昭和16年(1941)航空部は航空班へ、グライダー部は新設滑空班へ。滑空班の創設予算として、グライダー4機、練習服・油・修理用具等、格納庫内設備など合計3000円を計上。実際に購入したグライダーは2機で、4月29日に命名式がおこなわれ、「天理第一号」「天理第二号」と名付けられ盛大な始空式が行われた。

グライダーには動力がなく、飛行機やウインチで曳航して飛ばします。本機はゴム索でパチンコのように機体を打ち出して飛ばします。

昭和20年(1945)文部省より滑空訓練中止通達

本学には航空部やグライダー関係の写真が残っていません。少しでも当時の様子を実感するために、畝傍中学校グライダー部の写真を使用させて頂きました。

畝傍中学(旧制)昭和15年卒業記念 中山和美氏提供



畝傍中学校グライダー部



畝傍中学校グライダー部初会式



畝傍中学校グライダー部



畝傍中学校グライダー部 左側の学生らがゴムをもっている